



## 製織【後染織物】及び【先染織物】コース 受講生募集



京都府織物・機械金属振興センターでは、織物製造業及び関連工程に関わる人材育成研修を実施しています。

製織【後染織物】及び【先染織物】コースでは、主に織物の製織に携わり始めた方を対象に、製織に係る基礎知識、準備作業、織機操作などについて座学や実習の研修を行います。日頃の作業で注意が必要な点や、疑問に感じていることの解決方法を学べる機会となりますので、是非ご受講ください。

### 製織【後染織物】コース

内容

マンツーマンで、後染織物の製織に必要な基礎知識、糸の結び方、管巻き、ハンドルの操作など工程全般の作業を研修します。カリキュラムの詳細は別紙1をご覧ください。

実施日時

令和3年8月16日(月)～12月24日(金)まで、最大72時間(3時間×24日間)。研修日時や時間数は、受講生の研修前の習熟度に応じて、調整し決定します。

対象者

後染織物の製造に携わり始めた方、織物業への従事を検討されている方など

講師

京都府織物・機械金属振興センター 技術支援課 職員

定員

3名(申込受付順)

申込期間

8月2日(月)～10月29日(金)あるいは定員に達するまで。

### 製織【先染織物】コース

内容

少人数形式で、先染織物の製織に必要な基礎知識や、シャトル、ジャカード等の日常の調整方法を研修する他、受講生が日頃抱えている疑問を聞き取って解決方法を指導します。カリキュラムの詳細は別紙1をご覧ください。

実施日時

令和3年9月1日、8日、15日、22日、29日、10月6日、13日、27日、11月10日、17日の計10回。いずれも水曜日。午後1時30分～午後4時30分。

対象者

先染織物の製造に携わり始めた方、日頃の作業で疑問を抱えている方など

講師

平田好宣氏(織機調整1級技能士、京都府中小企業特別技術指導員)

定員

3名(※ 申込者が2名に満たない場合は、開催を中止します。)

申込期間

8月2日(月)～8月20日(金)まで。

### 申込、お問合せ先

申込用紙

申込用紙(別紙2)に必要事項を記入のうえ、当センターまで御返信ください。

申込、  
お問合せ先

京都府織物・機械金属振興センター 技術支援課 徳本主任研究員  
電話：0772-62-7402、FAX：0772-62-5240、メール：y-tokumoto20@pref.kyoto.lg.jp

## 令和 3 年度丹後織物人材育成研修

### 製織【後染織物】及び【先染織物】コース カリキュラム

#### 製織【後染織物】コース

##### <織物や織機の基礎知識>

織物の種類、織機の種類、織機の運動、織機各部の名称、ジャカード各部の名称、織機の保守のための油差し、機拵え（はたごしらえ）周辺の名称、機拵え図の読み方

##### <機場での糸の扱い方>

糸の扱い方 糸の結び方、撚りの見分け方、糸繰り、管巻き、シャトルの準備とよこ糸の調子の確認、たて糸の確認、杼箱の確認

##### <製織>

ハンドル操作の練習、準備したシャトルでの製織、畦の整え方、たて・よこ糸が切れた時の作業、杼口合わせ、織合わせ、製品を下ろす作業

#### 製織【先染織物】コース

##### <先染め織物の基礎知識>

織機の種類と各部の名称、帯地の種類と織物組織

##### <製織準備>

たて糸（ビーム）の取り付け位置、たて継ぎ、箆の取り付け、よこ糸の準備、糸繰り、合糸、管巻き、地越の調整、たて糸の張力及びウエイト、シャトルの調整（猫毛、遊糸、杼ゴム）

##### <力織機及びジャカードの基本運動>

開口運動、杼投げ運動、箆打ち運動、副運動、巻取り・送出し、杼箱交換の調整、安全器の調整、たて針開口量、よこ針押し量の適正化、ダイレクトジャカードの種類と調整

##### <製織>

織物品種に適した開口量、伏せ込み量、開口タイミングの調整、馬乗りの防止、杼投げ力の調整、ピッカーの交換、杼受け装置の調整、バッファの種類、ピッキングバンドの老朽化、弛緩現象の緩和、箆磨き

##### <難物の要因説明>

織段（厚段・薄段、地越斑）、たてキズ、織合わせ段、しわ、汚れ、たて切れ、よこ糸のヒケ

